

事務事業名		豊田公民館管理事業		目標設定日	令和2年3月1日
総合 計画 体系	基本政策	4	ふるさとを学び育つ文化のまちづくり	部・局	教育委員会事務局
	政策	02	社会教育・生涯学習の充実	課・室	豊田公民館
	施策	01	社会教育・生涯学習の充実	係	
予算 体系	会計	一般会計		内線電話	8208
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	4項	社会教育費	未計上	
	目	3目	公民館費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	市民	常に行政コストを意識し（概ね前年当初予算計上額の100%以内に抑える）、受益者負担の増加につながらないようにする。	
	市民	利用者間の公平性・公正性の確保に努め、人口減少や少子高齢化も鑑み、施設利用延べ人数は年間17,000人とする。	
現状・課題	築年数23年を迎え、施設の維持整備箇所が増加している。今後の維持整備については、必要性及び緊急性、実施の効果等を十分検討した上で、適正かつ計画的に実施する。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	社会教育法	
事務事業概要	施設の維持管理、利用管理		
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量
	施設利用延べ人数		17,000人
	実施の効果等を踏まえた計画的な施設の維持整備		年間10箇所

事務イン 事業プ コスト	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算	円		12,244,000	12,128,000
補正・流用等		円		0	0	—
合計		円		12,244,000	12,128,000	10,726,000
決算（見込）額 A			円	11,732,513	11,076,000	—
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金	円	0	0	0
		県支出金	円	0	0	0
		市債	円	0	0	0
		その他特定財源	円	350,636	337,815	332,000
	一般財源	円	11,381,877	10,738,185	10,394,000	
正規職員数		人		0.45	0.35	0.55
人件費 B		円		2,895,300	2,254,700	3,543,100
総事業費 A+B		円		14,627,813	13,330,700	14,269,100
市民1人当たりコスト		円		342	313	337

成果指標	アウトカム	方向		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
施設利用延べ人数		維持	目標	20,000	人	17,000	人	17,000	人
			成果	22,112	人	18,000	人	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値を設定した理由	「令和2年度当初予算編成方針」「個別施設計画」「受益者負担の適正化に関する指針」に基づき設定。								

令和2年度の実施方針	効率的に実施	活動量	維持する	コスト	下げる	成果	維持する
	より効率的な施設管理（行政コストの抑制に努める）を行い、受益者負担の増加につながらないようにする。						

